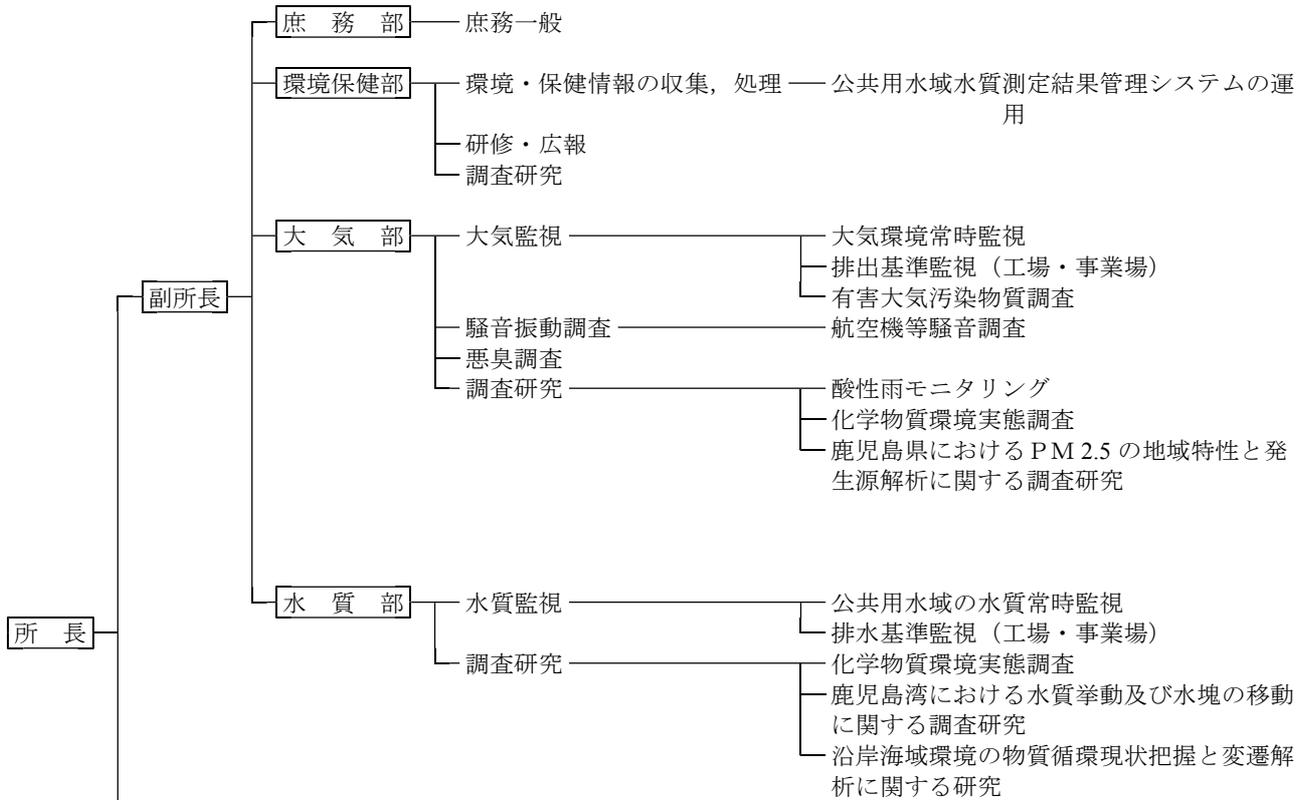


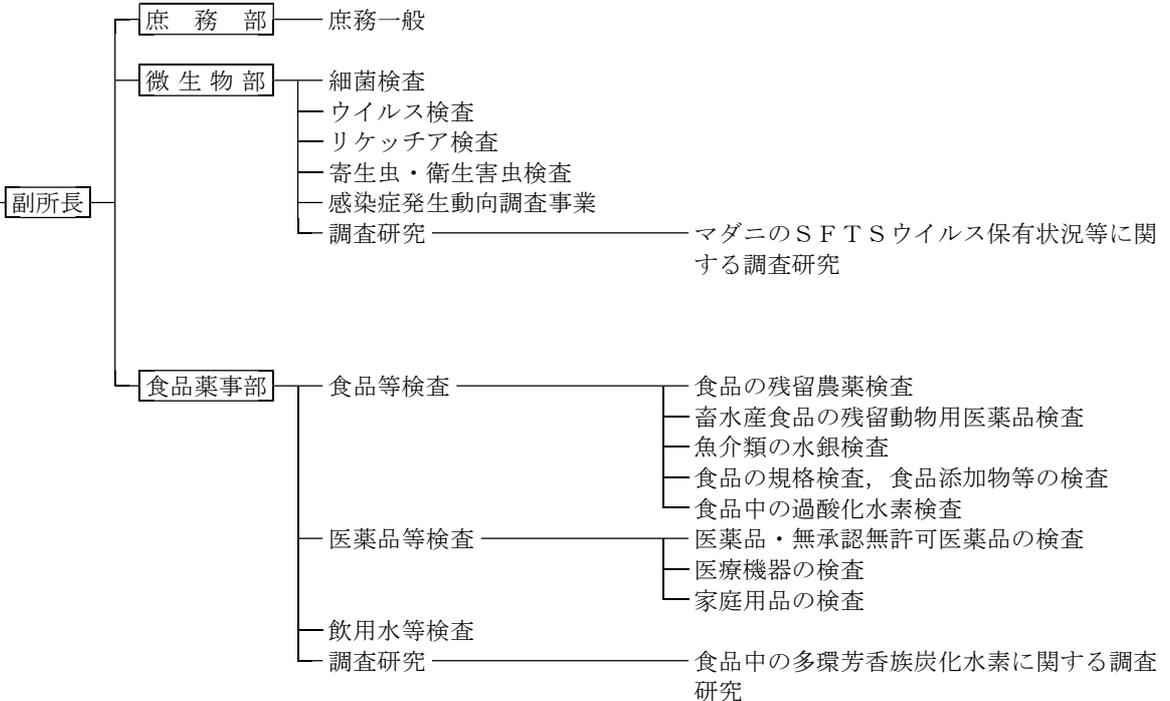
## 12 環境保健センター

### 12- (1) 環境保健センター組織

#### 【城南庁舎】



#### 【錦江庁舎】



## 12- (2) 調査・試験研究の概要

環境保健行政の円滑な推進を支援することを目的に、国及び他自治体の研究機関とも連携しながら調査研究に取り組んでいます。これらの結果は、所報に取りまとめ、公表するほか、学会等で発表しています。

### ① 酸性雨モニタリング（大気部）

本県における酸性雨の実態を把握するため、降水成分等調査を行うとともに、発生メカニズムなどについて調査研究を行っています。

### ② 化学物質環境実態調査（水質部、大気部）

有害化学物質による環境汚染を未然に防止するためには、過去に使用されたものも含めた化学物質の環境残留性の実態把握が必要であることから、環境省の委託を受け、大気、水質、底質、生物のモニタリングや暴露量等の調査を行っています。

### ③ 鹿児島県におけるPM2.5の地域特性と発生源解析に関する調査研究（大気部）

大気汚染防止法に基づく常時監視による質量濃度測定や成分分析に加え、高濃度が予測される時期に試料を採取、分析を行うとともに、気象条件、他の大気汚染物質等を加味した考察を行い、蓄積したデータを用いて本県のPM2.5の発生源寄与率を推定します。

### ④ 鹿児島湾における水質挙動及び水塊の移動に関する調査研究（水質部）

閉鎖性水域の水質変動機構や水塊の移動を把握するために鹿児島湾における栄養塩類の溶出・沈降、移動等の影響の調査を行っています。

### ⑤ 沿岸海域環境の物質循環現状把握と変遷解析に関する研究（水質部）

これまでの公共用水域常時監視で調査が行われていない項目を補完・実施することにより、沿岸海域水環境構造診断のための観測方法の提案を行う目的で、国立環境研究所や他の地方環境研究所と共同研究を行っています。

### ⑥ マダニの重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス保有状況等に関する調査研究

平成25年4月に本県において初めて患者が確認されたSFTSは、マダニ媒介性疾患であることから、県内におけるマダニの分布状況や季節の消長及びSFTSウイルスの保有状況を調査しています。

### ⑦ 食品中の多環芳香族炭化水素に関する調査研究（食品薬事部）

発がん性が疑われるベンゾピレンをはじめとする多環芳香族炭化水素（PAH）が、食品の燻煙や加熱などの製造工程で意図せず生成されることから、県内産食品中のPAH含有量を調査し、低減化モデル試験を実施しました。